

第1回 わぁ、カニがうじゃうじゃいるね！

～舞子の海に広がるアメフラシなどのたくさんの生きものにふれてみよう～

- ◆ 本講座については、講師との調整の結果、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、残念ながら開催中止となりました。楽しみにしてくれたみんな、ごめんなさい！！



第2回 住吉川のウナギはおおきくなったかな？

～汽水域にすむいろんな生きものにふれてみよう～

- 日時 2020年8月29日(土)10時～12時
- 場所 住吉川汽水域(河口)〈東灘区〉
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 兵庫・水辺ネットワークのみなさん他
- 協力 住吉川清流の会、神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆ 海水と淡水が混じる汽水域では、生きものの種類が多く、多様な魚やカニ・貝などの生きものを親子で一緒に捕まえて観察していました。

- ◆ 兵庫・水辺ネットワークのみなさんには参加者が捕まえた生きものを解説していただき、地域固有の生きものや絶滅危惧種も多く見られたことを参加者は興味深く聞いていました。

- ◆ 参加した子どもたちからは、「いろんな生きものがいて驚いた」という感想や、きれいな川を守るための心がけとして、「遊びにきたときむやみに魚やカニや貝を採らない」「川をよごさないようにします」といった意見があり、自然環境の保全について考えるきっかけになりました。



第3回 プラゴミ使ってすてきなアート作品ができたよ！ ～砂浜に落ちているプラゴミはどこから来るの？一緒に考えてみよう～

- 日時 2020年9月5日(土)①10時～12時30分
②13時30分～16時
- 場所 須磨ヨットハーバー研修室<須磨区>
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 原田禎夫さん(大阪商業大学准教授)
水野哲雄さん(京都芸術大学名誉教授)
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆世界的に大きな問題となっている海洋プラスチックごみ問題について、原田先生のお話の中で、発生の意外な原因や、プラごみによる海の生きものや私達への影響などを学びました。
- ◆その後、実際に須磨海岸に出てプラごみを採取後、水野先生と共にプラごみを使ってアート作品を作るワークショップを行いました。参加者は、プラごみがどこから出たものかを推測しながら作成していました。
- ◆参加した子ども達からは「ごみを絶対に捨てない」「人口芝生が多かった」などの感想がありました。要らないものは買わないなど、私達が身近にできることからプラごみ問題解決へ向けて行動をすることが大切です。



第4回 虫とりめいじん、さんじょう！！ ～都会にすむ、たくさんの虫たちをさがしてみよう～

- 日時 2020年9月12日(土)10時～12時
- 場所 西神中央公園<西区>
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 山本勝也さん(日本甲虫学会)
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆雨が降った後の良く晴れた日で、参加者は草原で虫取り網を使って飛んでいるトンボやバッタをつかまえたり、少し奥に入ってカブトムシを見つけたり、広く自然豊かな西神中央公園で参加者達は思い思いに虫と触れ合い、その様子を観察していました。
- ◆その後、参加者が捕まえてきた虫の発表会を実施しました。講師の山本さんに、採集した虫の解説をしていただき、子供たちは熱心に手を挙げて、自分が捕まえた虫を講師に見せにいました。
- ◆参加した子どもたちからは、きれいな森や林を守るために「生きものを大切に」「ごみを減らし自然を守る」などの感想がありました。都会にすむ多様な虫たちと触れ合うことで、神戸の自然の豊かさや大切さを感じてもらえたと思います。



第5回 『おじいさんは山へ柴かりに・・・』しばってしっとお？

～里山のくらしを体験！生きものとふれあい、豊かな自然を感じよう～

- 日時 2020年10月17日(土)10時～13時
- 場所 あいな里山公園<北区>
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 日本野鳥の会ひょうごのみなさん
藤井文子さん(摘み菜の会)
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆雨が降る中でしたが、参加者は講師案内のもと、茅葺の家を訪ねたり、野草を摘んだり、野鳥を観察したり、広く自然豊かなあいな里山公園を散策し、満喫していました。
- ◆その後、参加者は拾ってきた芝や割った薪をかまどへ入れ、自分たちで火をおこし、ご飯を炊くことで、電気がなく、自然と共生していた頃の暮らしを体感しました。
- ◆参加した子どもたちからは、「食べれる草や里山の歴史を知れた」「今と比べ昔の人はご飯を炊くのも大変だったと思った」などの感想がありました。
豊かな自然の残る神戸の里山への関心を持ち、エネルギーの使い方を考えるきっかけになったと思います。



第6回 天気予報って、これだけの人たちが作ってるんだ！

～天気予報づくりの裏側を見て、温暖化について考えてみよう～

- 日時 2020年11月14日(土)①10時～12時00分
②13時30分～15時30分
- 場所 神戸地方気象台<中央区>
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 神戸地方気象台防災気象官
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆気象官から、天気予報ができるまでのお話と地球温暖化についての講義をしていただきました。普段なかなか聞くことのできないお話に、たくさん質問が出ていました！
その後、見学とワークショップの時間へ。
観測露場の見学では、貴重な観測機器を見ながらの解説に参加者のみなさんも興味深々！
ペットボトルでの雨量計づくりでは、子どもたちが熱心に工作し、オリジナルの雨量計づくりに励んでいました。
- ◆参加した子どもたちからは、「二酸化炭素を減らす。」「地球を守るために木を植えたりしたい。」
など、私たちの住む地球について、考えるきっかけになったと思います。

